

雑感

義務教育と学習権

日本国憲法では、子どもには教育を受ける権利があり、そして保護者には子どもに教育を受けさせる義務があると定められています。

ところで教育とは何でしょうか。教えること。つまりそれは大人から子どもに対して働きかける行為です。主体は教える側にあり、場所、内容、方法や時期は教える側が決めます。日本の公教育は将にこれですね。

一方、学習とは何でしょうか。学び、習うこと。こちらは行為の主体は子ども自身が決めます。もし学習権が認められれば現行の画一的な一斉授業を中心とした方法は大きく変わることになるでしょう。不登校の問題などは、家庭での

学習とみなしてサポートする制度を作れば解決するわけです。またオランダのように、市民が自分たちの子どものために学校をつくる制度のある国があります。もし、こどもの森学園をオランダでつくったとすれば、施設の建設費用やスタッフの賃金すべてが税金で賄われます。

教育と学習、似ているようで実は全く違うのです。子ども中心の教育を目指すとき、この学習権という考え方がキーポイントになります。今、オルタナティブ教育を進めようとしている人たちを中心に、子どもの学習権を保障する法律をつくらうとする動きがあります。この法律ができれば、日本の教育は大きく変わっていくことでしょう。(芳仲 猛)

各種イベントのお知らせ (4月~8月)

箕面こどもの森学園の創立10周年記念事業を行います

本学園は、2004年に「わくわく子ども学校」として開校してから、今年で創立10周年を迎えます。これを記念して次のような行事を企画しています。①10周年記念誌の出版、②学校紹介本の出版、③記念講演会、④記念イベント。記念イベントは、10月19日(土)に本学園にて開催します。

「こどもの森」の10年が詰まった本、ついに出版!

「こんな学校あったらいいな ~小さな学校の大きな挑戦~」という本を、10月に築地書館から出版します。箕面こどもの森学園のこの十年間を描いた本です。ぜひ、お買い求め下さい。

今後の教育カフェ・マラソンの予定

- 第12回: 2013年9月13日(金) 水谷綾さん(大阪ボランティア協会)
第13回: 2013年10月11日(金) 徳谷章子さん(ハートフレンド代表理事)
第14回: 2013年11月15日(金) 田辺克之さん(神戸フリースクール代表)

オープンスクールと無料体験入学のお知らせ

子どもは自分が認められ、自分のことを自分で決められる学びの場で、自己の可能性を最大限に発展させます。一斉授業とも詰め込み授業とも違う、子どもたちの可能性を拓く新しい教育に触れる貴重な機会です。こどもの森の教育に関心のある方はぜひご参加ください。お子さまは授業体験もできます。詳しくは、学園のホームページをご覧ください。

《オープンスクール》

日時: 11月9日(土) 9:30~11:30

定員: 授業参観コース(大人対象) 30名
授業体験コース(年長児~小学5年生までの方対象) 15名

参加費: 無料(事前申し込みが必要)

申込: 3日前までに電話またはFAXで学園の事務局へお申込みください。

《無料体験入学》

開催日: 11月25日~29日の中の1日

時間: 9:00~15:00(水曜日は9:00~12:00)

対象: 年長児~小学5年生までの方

参加費: 無料(事前申し込みが必要)

申込: 3日前までに電話またはFAXで学園の事務局へお申込みください。

こんな学校に出会いたかった!!
♪♪ 箕面こどもの森学園生徒募集 ♪♪

子どもたちの主体的な学びを支援するオルタナティブ・スクールです。子どもの興味関心を学習の中心にすえ、子ども自身の生活から学習を組み立てるフレネ教育の考えと方法を取り入れています。

募集人数: 10名程度

対象年齢: 6~11歳(小学5年生まで)

場所: 箕面市小野原西6丁目15-31

見学: 随時

体験入学: 見学の後、学校の平常の授業を5日間体験していただきます。

入学面接: ご相談の上で日程を決めます。

※見学、入学ご希望の方はご連絡ください。

TEL&FAX 072-735-7676



アクセス: 阪急北千里駅から北へ徒歩15分

《編集後記》

最高気温が35℃を超える日が17日間も続いた猛暑の夏が終わった途端に、今度は大雨と雷の到来です。このときばかりは、池のメダカも姿を隠して現われませんでした。

9月初めの2日間、学園は短縮期間ですが、スタッフは午後からも忙しく仕事に精を出していました。今年の秋は通常の仕事に加えて、学園創立10周年記念事業を控えていたからです。こどもの森通信第16号と10周年記念誌の原稿をお寄せ頂いた方に、この場を借りてお礼を申し上げます。(松崎)



こどもの森の体育祭

学習サポーターになって2ヶ月目の6月、こどもの森の体育祭に初めて参加しましたが、それは他のところでは決して経験できない特別な体育祭でした。

こどもの森では、日程や種目、ルール、進行担当まで、すべて子どもたちが話し合って決めます。子どもたちが最もこだわったのは体育祭の開催日でした。自分の都合だけでなく親の都合まで考えて、みんなが納得するまで話しあい、長い時間をかけて開催の日が決まりました。

6月9日、天候に恵まれてプログラムがスタート。親戚の方やスタッフ、卒業生や知人・友人まで幅広い人たちが参加。爽やかな緑の自然に囲まれた会場の千里北公園には、とてもあたたかい雰囲気の間が広がっていました。事前に入念に話し合ったかきがあって、体育祭は子どもたちの手でスムーズに進行。そして、やる人も見る人も笑顔でいっぱいの中で無事に体育祭が終わりました。(笹川)



1学期の音楽発表会

7月11日。1学期の音楽のまとめとして、音楽A(低学年クラス)と音楽B(高学年クラス)が合同で、それぞれ取り組んできた音楽の発表を行いました。

音楽Aは、「風になる」を軽やかなポンゴのリズムと可愛らしいウクレレの伴奏で、体一杯に「歌を歌う楽しさ」を聴かせてくれました。「明日があるさ」の合奏では、はじめは硬い表情が目立ちました

が、曲が始まると笑顔が浮かび、気持ちよさそうに、みんなの前で堂々と発表することができました。

音楽Bでは、「世界がひとつになるまで」と「ビリーブ」をクラシックギターとリコーダーの伴奏で歌いました。「世界がひとつになるまで」は、曲の盛り上がりの力強い声が印象的でした。「ビリーブ」では、歌声ががらりと変わり、歌詞が心に響いてくる歌声でした。

最後に、全員で創作の「キッチンオーケストラ」を演奏しました。重なり合う音色やリズムがホール一杯響きました。何より、音楽Aと音楽Bの子どもたちが、それぞれの良さと光り合う有意義な時間を過ごすことができました。(大北)

大盛況だった夏祭り

7月の初旬、恒例の夏祭りが開催されました。浴衣を身につけてウキウキとした表情の子どもたち。自分の担当する店の当番の時間と、他店を見にいける自由な時間を交互にとり、「あと5分で、交代だー」と、首を長くして待つ様子はとても印象的でした。

今年はじめてできた将棋コーナーやおりがみコーナーは、子どもたちの特技を活かした催しで、それを通して地域の方や大人たちとのコミュニケーションを図ることができました。保護者の方々のスーパーボールすくいや、プニユ玉すくいのコーナーは、大勢の子どもたちが夢中になり、取ってきた色鮮やかな袋は、祭りをより一層鮮やかに彩りました。祭りのスタートから多くの方がいらして、最後まで賑やかに、催す側も訪れる側も楽しんだひと時でした。(藤丸)



発行日: 2013年9月15日
発行所: NPO法人箕面こどもの森学園
562-0032 大阪府箕面市小野原西6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail kodomomori@nifty.com
URL http://kodomonomori.com

アニマル・フェスタ 開きました

1学期前半のテーマ学習は「人と動物のいい関係」。その集大成が「アニマル・フェスタ」です。友だちやスタッフ、家族が集まる中、子どもたちはそれぞれブースを設けて発表しました。

これまでに動物たちの孤児院、災害救助犬やセラピードッグの施設を訪問し、被災ペットのお話を聞いたり、映画『ブタがいた教室』を鑑賞したりしてきました。それと並行してブース発表の準備をしてきましたが、その関心と表現のしかたはともユニークです。

好きな動物を模造紙いっぱい並べた子、絶滅危惧種クイズを出題する子、紙芝居を出す子、鳥の写真でしおりをつくって参加者に渡す子。にぎやかなブースが並びます。歴史にとっても詳しい子は、家から分厚い本を持ってきて「三国志に登場する馬と人の関係」をまとめました。日ごろから動物保護に関心のある子は、写真展を開きました。毛皮になる哺乳類、食用に遺伝子組み換えされている鶏など、ショッキングな写真が並びます。「現実やから知る必要はあるけど、怖い見たくない人もいるやるから」と言って表紙をつけて、見たい人だけがめくれるようにしていました。

難しいテーマでしたが子どもたちはそれぞれの視点で熱心に準備し、楽しそうにすすめていました。友だちの発表にも刺激を受け、「すごい!」「めっちゃ絵うまいなあ」とそれぞれに言い合う声も聞こえ、活気にあふれた一日になりました。(中尾)



自由作文・テーマ作文の紹介

ハッピーハウス見学

まさし(4年)

4月18日、ハッピーハウスに行きました。まずは、ハッピーハウスがどんなところかビデオを見て教えてもらいました。そして、ハッピーハウスを回りました。犬がたくさんいて、びっくりしました。前の家で、犬とねことカラスとうさぎを飼っていたことを思い出しました。

最後に、ねこの場所について、こねこがいて、その子を抱っこしました。

プロジェクト作品の紹介

ティッシュカバー

なつえ(2年)

なぜつくったのかというと、ともだちへのたんじょうびプレゼントにしたかったからです。くふうしたところは、カラフルにできなかったところです。むずかしかったところは、ながさをはかるところです。たのしかったところは、ミシンでぬうところです。



ホバークラフト

がくほ(5年)

風力を利用して動くって楽しいなと思って作りました。作るのに慣れてきたら、

《スタッフのつぶやき》

素敵なほうきの使い方

小学校1年生のころ、とても優しい雰囲気の方が担任の先生でした。その先生がよく掃除の時間に、ほうきとちりよりの使い方を丁寧に教えてくれたのですが、その姿が印象深く今でも思い出すことがあります。

ある日の放課後。低学年クラスでほうきを持って掃除をしている女の子に、「ほうきの上手な使い方知ってる？」と声をかけました。すると、「うん」とう

いのちって何？

さくら(5年)

いのちは、自分にとってすごく大切だと思います。いのちって体の中にあるんじゃないくて、気持ちの中にあるのかなって思います。いのちは、気持ちとつながるとおもいます。いのちと気持ちがつながったときに、いのちって何かわかるとおもいます。

鳥のアイロンビーズ

たつ(6年)

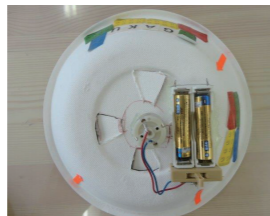
動物図鑑で鳥のことを調べていて、気分転換にアイロンビーズで作ってみました。

図鑑で絵を見ながら、ビーズを置いていきました。



思ったより簡単だった。

できたとき、とてもうれしかったです。



なずいた後に、アニメ『魔女の宅急便』の主人公キキのようにほうきにまたがり、満面の笑顔を見せてくれたのでした。そういえばお弁当を食べている時に「大阪の小学生は魔法が使えるんだよ」と教えてくれていたのを思い出しました。素敵なほうきの使い方は彼女の方がよく知っているようです。そんな子どもたちの豊かな発想にいつも心奪われます。(高原)

《卒業生だより》

今の僕があるのは、こどもの森学園に通ったから

沼尾 彬久(2012年度卒業生)

僕は、小学生になる前からゲームが大好きでした。ゲームをすることが、あまりまわりに認めてもらえず、窮屈になってしまい、不登校になってしまいました。

箕面こどもの森学園にしっかり通うようになったのは、4年生の3月からです。自分で決めたことをすることができたので、僕はほとんどゲームについて調べていました。

その後、6年生になり、受験をすることを決め、学園ですること幅が広がりました。受験には成功。今は、私立の中学校に通っています。今のところ、勉強などにも特に問題は無く、楽しい毎日をおくっています。

なぜ、小学校のとき不登校になってしまったのに、今は、しっかり学校に通えているのかを考えてみると、やはり、学園でやりたいことができたということで、自分のことを見つめ直すことができたからではないかと思えます。自分のやりたいことをして、自分を知り、認めることができたから、今の僕があるんだろうと思えます。

こどもの森子育て講座に参加して

「心に届く聴き方、伝え方」というテーマで、6~7月に3回にわたって、こどもの森子育て講座が開かれました。

講師はこどもの森のスタッフの守安あゆみ。参加者は子育て中のお母さんや子育てを終えたお母さんたち5人でした。

問題をかかえた場合の子どもにどのように接したらいいのか、ワークショップを交えながら体験しました。

能動的な聴き方を学び、しんどい思いをしている子には、自分のことを分かってもらえるという点で、安心できるのではと思いました。そういえば、うちの娘もしんどい思いをしていたとき、「お母さんに答えを求めているんじゃない、ただ聞いてほしいだけ」と言っていたのを思い出しました。

アドバイスや反論もせず、ただ、「そうなんや! しんどいんやね!」と聴くのも大事なんですね。(中村)

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 4月~8月

こどもの森講座を開催

1学期は、「フレネ教育を感じよう!」、「自由作文を書こう!」、「全校集会をやってみよう!」と題して、こどもの森講座を3回開きました。日ごろ、こども森学園で大切にしている教育理念や教育方法に関する内容です。

入学を検討中の保護者の方、大学院生、学校の教師の方、オルタナティブ教育に関心のある方など、いろんな立場の人が参加してくださいました。

3回目の「全校集会をやってみよう!」には、関東から参加された方もいて、多様な学びの場への関心の広がりを感じました。

これからも、この学校でやっていることを広く伝えていく活動を続けていきたいと思えます。(藤田)

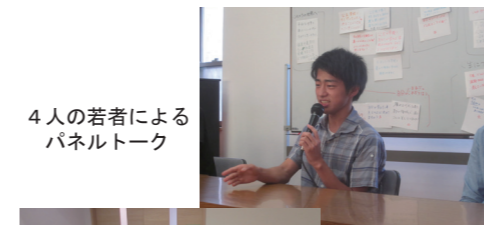
会員研修会の報告

~4人の若いパネリストを迎えて~

今年の会員研修会は、関西のオルタナティブスクール「きのくに子どもの村学園」、「西宮サドベリースクール」、「箕面こどもの森学園」の卒業生に、「コリア国際学園」の在校生を加えた4人の10代のパネリストを迎えて、7月20日に開催されました。

藤田校長から各校について紹介があった後、パネリストの人たちに、自分の学んだ(でいる)学校の特徴、公立校との違い、自分の学びや将来の夢について語っていただきました。その後で、参加者全員が4つのグループに分かれ、パネリストお一人ずつを囲んでの座談会となり、より深い話をうかがいました。

自分と真摯に向き合い、希望を持って将来に向かっていく若い人たちに直接触れ、参加者一同が元気をもらい、オルタナティブな教育の良さが実感できた研修会でした。(沼尾)



4人の若者によるパネルトーク



パネラーを囲んでの話し合い

“夏の学校”を開きました

昨年はお休みした“夏の学校”を今年は7月28日、29日に、小学生や年長さん、保護者の参加で開きました。

1日目はハッピータイムの顔合わせでスタート。個別学習の“ことば・かず”では、「こんなやり方だったらやりやすいのになあー」との声も。午後はプロジェクトの工作、木工、手芸、クッキングなどの“もの作り”。みんな自分らしい作品ができていました。

2日目は、昨日会ったばかりとは思えないくらい仲良くなって名前呼び合っていた人も。この日は保護者もプロジェクトを体験。木工では黙々と集中。手芸では手も動かし口も動かして子どものことについて話が弾みました。

いろんな思いのいろんな方に、夏の学校を通して私たち学園を知って頂けたらと思っています。(平嶋)



教育カフェ・マラソン 第8~11回

トータル100回開催を目指して、コツコツゆるりと毎月実施しております。

- 第8回: 5/17 今井 紀明さん (NPO 法人 D x P 共同代表)
第9回: 6/14 祖母井 秀隆さん (J2「京都サンガ」ゼネラルマネージャー)
第10回: 7/12 川口 加奈さん (NPO 法人 Homedoor 理事長)
第11回: 8/9 仲里 靖雄さん (帝塚山学院小学校教諭)

どうですか! この豪華な話題提供者の顔ぶれ。話題提供者からの問題提起を受け、小グループで‘熟議’を繰り広げています。毎回いろんな切り口から社会を見つめ、教育を考え、新たな出会いやつながりが拡大中。だんだん涼しくなっていく季節の中、教育カフェ・マラソンは、まだまだアツイ!(西江)

文部科学省の委託事業を受託

文部科学省の委託事業に応募したところ、平成25年度の委託先に認められました。

この学校で日常的に行われている学習(テーマ学習、プロジェクト学習、全校集会、ことば共同、ソーシャルスキルなど)が、今回の研究助成の対象となっています。教育内容をより充実させるため、5人のスタッフが関東

のスクールの視察にも行きました。それらのことをまとめた報告書を年度末には作成する予定です。(藤田)

夏季セミナー2013

哲学キャンプ in こどもの森

今年で2回目となる哲学キャンプを8月17・18日に開催しました。ふだん考えることはあってもなかなか深い部分まで考えることはあまりない事柄を、じっくりと、多人数で同じテーマを哲学しようという企画です。

今回は、医療をテーマとし、西洋医学に疑問符を持ち葉をなるべく使わないことで有名な、みうらクリニック院長・三浦直樹さんから「病気ってなに?」、そして社会をテーマに大阪大学大学院国際公共政策研究科教授の山内直人さんに「幸せってなに?」についてそれぞれ話題提供してもらい、その後、4グループに分かれてしっかり哲学しました。

夜の時間は美味しいタイカレーを食べながら、初対面の人たちともすぐに打ち解け、あちらこちらで小さな輪ができ、時間を気にせず眠くなるまでおしゃべりで盛り上がりました。様々な刺激を受け充実した2日間。心地よい疲労感とともに、同じ空間、同じ時間を過ごし世代を超えて仲間となった皆さんとこの夏の良い思い出になりました。イベント後も様々な形で繋がって、そこからまた何か生まれていく不思議を体感できますね。次回の企画も期待されていますので、続いて哲学仲間を増やしましょう!(森岡)

NPO 法人箕面こどもの森学園の活動にご支援を!

箕面こどもの森学園のさらなる発展のために、ご支援いただける方は、次のいずれかの方法でご協力願います。

- ◆正会員になる (年会費3,000円)
◆賛助会員になる (年会費3,000円)
◆資金・資材を寄付する
◆情報・労力を提供する

振込先: 加入者 NPO 法人箕面こどもの森学園
<郵便払込> 00980-7-232403
<郵便口座振込> 14020-68190721
<銀行振込>
ゆうちょ銀行四〇八支店(普) 6819072
池田泉州銀行小野原支店(普) 72258

※会員になられる方には入会申込書と払込用紙をお送りしますので、下記にご連絡ください。
TEL&FAX 072-735-7676
メール kodomomori@nifty.com